

4. 歴史文化を活用する 観光の振興

基本方針

本市には、豊かな歴史文化遺産と優れた自然景観が存在します。これらを観光に積極的に活用し、来訪客が多くなれば、市民の間に自分のまちへの誇りと愛着が生まれます。その結果、他の地域の人々との交流やふれあいの機会が増え、まちの賑わいや活気を生み出すことができます。

明日香村・高取町・桜井市などの近隣市町村や観光協会をはじめとする関係団体と連携して広域的・エリア的観光を進め、それらを結ぶ「ゆっくり・じっくり・楽しめる」滞在型、回遊型の観光を振興します。

また、広域的な観光の交流拠点・情報拠点となる施設の整備を進めるとともに、観光案内所などの充実を図ります。



現状と課題

観光立市を目指して県や近隣市町村、住民と連携し、再び訪れたい魅力ある観光地づくりや、もてなしの心で観光客を迎える協力体制などを整える必要があります。

平成18年に本市の文化遺産が桜井市、明日香村とともに「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」として世界遺産暫定一覧表に掲載されました。今後は、世界遺産への登録を目指し、関係自治体と連携して、PRや保全・整備を進めなければなりません。

また、南阪奈道路・京奈和自動車道等の開通により交通の利便性が飛躍的に向上し、観光客が増加する傾向にありますが、地域の活性化にはつながっていない面があることも課題となっています。

施策指標

| 指標名 | 実績値 | | | 目標値 |
|--------------|------------|------------|------------|------------|
| | H16 | H17 | H18 | H24 |
| 観光客数 | 4,052,128人 | 3,992,565人 | 4,225,468人 | 4,500,000人 |
| 宿泊施設の宿泊者数 | 110,628人 | 129,215人 | 128,687人 | 160,000人 |
| 観光ボランティア案内件数 | 239件 | 244件 | 275件 | 350件 |

今後の取組

1 観光客誘致の推進

誘客につながる魅力的な観光パンフレット・ポスターの作成を進め、民間施設をはじめ様々な場所で積極的に配布し、掲示を行います。その他にも、ホームページを活用した観光情報の発信や観光協会等と連携した大都市圏等での観光PR等、外国人旅行者も視野に入れながら、あらゆる機会をとらえて本市の情報を発信します。

近隣市町村をはじめ吉野地方等をも含めた広域による連携で誘客に取り組み、本市を中心とした回遊型の観光の実現に努めるとともに、藤原宮跡を国内外に更に積極的に紹介し、世界遺産の本登録へ結び付けます。

- 観光客誘致事業
- 魅力ある観光パンフレット・ポスター作成事業
- 古代大和観光連絡会業務

2 各種伝統的行事等の保存・活用の推進

本市には、「すすつけ祭」、「愛宕祭」、「ほうらんや火祭」など多くの伝統的行事があり、これらの行事・祭礼を保存し、文化を伝承しながら、地域の活性化につながるよう観光資源として活用します。

- 各種行事補助金交付事業

3 観光施設の整備

国内外からの観光客受入れに必要な環境整備が急務であり、そのため、公共交通機関を利用した来訪者への情報拠点・広域的な観光拠点となる観光交流センターの建設などの整備を推進するとともに、バス、マイカーによる藤原宮跡等への来訪者に対して「道の駅」のような施設の整備を検討します。

- 観光施設整備事業
- 案内標識の多言語化事業
- 名所案内説明版整備事業

4 歴史・自然を体感できる観光の推進

今井町・藤原宮跡をはじめとする歴史文化遺産や自然豊かな景観を、名所・旧跡を線で結ぶ「ゆっくり・じっくり・楽しめる」観光ルートづくりに活用する取組を、近隣の市町村や観光ボランティアガイドなどと連携して進めます。また、滞在・体験型の観光企画を進めるなど、再び訪れたい魅力ある観光地を推進します。

- 観光ルート整備事業



すすつけ祭

市民等との役割分担

旅行業者や民間団体は、訪れたい魅力ある観光企画への提案や観光PRに協力することが期待されます。

また、市民が檀原の歴史と文化への認識を深め、わがまちを愛するとともに、「もてなしの心」で観光客を迎えることが期待されます。